

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買い上げいただき、ありがとうございます
この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

● 安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

 危険	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの
 警告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
 注意	指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

● その他の表示



お知らせ

操作に関するお知らせです。



アドバイス

使いこなすためのアドバイスです。



お願い

お車のために守っていただきたいことです。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めの販売店へご相談ください。

警告

- テレビを見たり、ナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしないでください。車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。



- SDメモリーカードは、乳幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと、窒息するおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

注意

- 安全のため運転者は、走行中に操作しないでください。また、走行中に画面を見るときは、必要最小限にしてください。前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転者は走行中に地点登録・メモリ設定などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因になりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者がテレビやビデオを見るときは必ず安全な場所に車を停車して使用してください。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因になることがあります。
- 本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください。
- 電源ON時は、ボリュームに注意してください。電源ON時に突然大きな音が出て、聴覚障害などの原因になることがあります。
- ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を挟まないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。
- 雷が鳴り出したら、アンテナ線や本機に触れないでください。落雷により感電の危険性があります。
- 本機の放熱部に手を触れないでください。放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。けがの原因になることがあります。
- 本機を車載用以外としては使用しないでください。感電やけがの原因になることがあります。



お願い

- 目的地（自宅）への案内は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。
- 安全のため、走行中に操作できない機能があります。画面に「走行中は安全のため操作できません。」等のメッセージが出ますので、安全な場所に停車して操作してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動がでなくなる場合があります。
- 停車して操作するときは、停車禁止区域外の安全な場所で行ってください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いにするなど異常が起これば、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因になります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因になります。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因になります。
- ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因になります。
- 音が割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因になることがあります。
- 当該液晶ディスプレイパネルは蛍光管が組み込まれていますので、地方自治体の条例、または、規制にしたがって廃棄してください。
- 極端な高温や低温でのご使用は誤作動や故障の原因になります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- 本機の中に金属や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因になりますのでご注意ください。
- ディスプレイ部の上にコップや缶など異物を置いたり、強い力を加えないでください。故障の原因になります。
- 本機の表示するデジタル地図は、道路の変更、通行止めなどは表示されません。また、ルート案内で表示されるルートは推奨ルートであり、災害、工事等でも道路状況がかわります。実際の交通規則を必ず守って運転してください。
- ナビゲーションシステムは、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をする場合があります。案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。
- プログラム読み込みが終了するまで電源を切らないでください。
バッテリーとの接続が絶たれた場合や、電圧が下がった場合には本機に保存されているプログラムが消去されてしまいます。この場合には次回起動時にプログラム読み込み中画面が表示され、再度プログラムの保存が行われます。プログラム読み込みが終了するまでしばらくそのままお待ちください。プログラム読み込み中に電源を断たれますと、ナビが起動しなくなるなど思わぬ故障の原因になります。



お願い

- 本機は精密機器であり、静電気、電氣的なノイズ、振動等により、ご購入後、お客様が記録された情報内容が消失する場合があります。お客さまが本機に記録された情報内容につきましては、別にメモをとるなどして保管してください。
 - なお、以下のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。
 - ①本機の故障、誤作動、または不具合等により、あるいは本機が電氣的なノイズの影響等を受けたことにより、お客様が本機に記録された情報内容等が変化・消失した場合。
 - ②お客様または第三者が本機の使用を誤ったことにより、お客様が本機に記録された情報内容等が変化・消失した場合。
 - ③本機の故障・修理に際し、お客様が本機に記録された情報内容等が変化・消失した場合。
- ※ 尚、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。



お知らせ

- 悪路走行中などの振動の激しい場合は、本機のデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常にもどります。
- 気温が低いときにヒーターをつけた直後では、ディスクの読み取り部のレンズに露（水滴）が付くこと（結露）があります。このようなときは1時間ほどそのままの状態であらゆる結露を取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、販売店にご相談ください。
- 寒冷時にエンジンスイッチをONにした後、バックライトの特性上、光ムラが発生したり輝度が低下して画面が暗くなる場合があります。しばらくすると自然にもとの輝度に戻ります。
- 初めてご使用になる時や長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがあります。しばらくするとGPSの測位によって表示位置が修正されます。
- GPSアンテナの取扱い
 - ・アンテナに塗装しないでください。電波の受信感度の低下や、受信不良の原因になります。
 - ・アンテナ上方を物でさえぎったり、また雪などが積もったりした場合にも受信感度が低下します。雪などは取り除いてください。
- 本機は安全のため、走行中一部の機能が使えなくなります。走行中は一部の細路を消去します。
- 本機は他の電製品からの電氣的なノイズに対して影響を受け難い構造となっておりますが、まれに強力なノイズを発生する電製品があり、本機の傍で使用された場合、画面の乱れ、雑音等の誤作動をすることがあります。その場合は、原因と思われる電製品のご使用をおやめください。

もくじ

1.はじめに		目的別早見表	1-1	
		主な特長	1-7	
		お使いになる前に	1-9	
		電源を入れるには	1-11	
		各部の名称とはたらき	1-12	
		CD・SDメモリーカードの出し入れ	1-14	
		ディスプレイの角度を調整するには	1-20	
		ナビゲーション・オーディオの切り替え	1-21	
2.基本編		初期設定	2-1	
		メニュー	2-7	
		地図の表示	現在地を表示するには	2-9
			地図スクロールするには	2-10
			地図の縮尺をかえるには	2-11
			地図の向きをかえるには	2-14
			3D表示するには	2-15
		2画面表示にするには	2-17	
		地図・文字を拡大表示するには	2-19	
		高速略図画面を表示するには	2-20	
ルート案内	2-22			
ルートを設定する	2-24			
ナビゲーション	共通の操作	ルート案内について	2-22	
		目的地を設定しルートを探索するには	2-24	
	ルート設定の詳細操作	5ルートを確認・選択するには	2-28	
		案内画面について	2-30	
		案内をもう一度聞きたいときは	2-37	
	どこでも確認ボタンについて	2-38		
	ルートを確認する	リスト画面の切り替え方	3-1	
		スイッチの意味がわからないときには	3-3	
		目的地を追加・並び替え・消去するには	3-4	
		通過道路を指定・修正・解除するには	3-11	
乗降ICを指定するには		3-16		
ルート案内の詳細操作	ルートの再探索	3-18		
	区間ごとの探索条件を設定するには	3-20		
	ルートの詳細情報を確認するには	3-21		
	デモでルートを確認するには	3-22		
	オンルートスクロールを使うには	3-23		
3.応用編	情報検索	走行軌跡について	3-26	
		ルートを中止・再開するには	3-27	
	情報検索	案内の音量を調節するには	3-28	
		50音で地図を表示するには	3-29	
		施設で地図を表示するには	3-33	
		電話番号で地図を表示するには	3-35	
		郵便番号で地図を表示するには	3-37	
		住所で地図を表示するには	3-39	
		メモリ地点で地図を表示するには	3-41	
		履歴で地図を表示するには	3-42	
マップコードで地図を表示するには	3-43			
周辺施設で地図を表示するには	3-44			
施設ランドマークを地図に表示するには	3-46			
近くの施設を検索するには	3-49			

ナビゲーション	4.設定編	各種設定	ナビ設定を行うには ……………4-1
		ナビゲーションのカスタマイズ	ナビメニュー「新しく探す」をカスタマイズするには ……4-17 ショートカットスイッチを設定するには ……………4-18
		メモリ地点	メモリ地点を登録・修正・消去するには ……………4-19 迂回メモリ地点を登録・修正・消去するには ……4-32
		VICS	VICSを使うには ……………4-38
		その他の機能	補正機能 ……………4-51 地図データについて ……………4-53 QQコールについて ……………4-54
5.情報機能		情報画面について ……………5-1 FM多重放送を見るには ……………5-2 メンテナンスを使うには ……………5-6 電話帳を見るには ……………5-16 カレンダーを見るには ……………5-17	
6.リアカメラ・SDメモリーカード		リアカメラからの映像を見るには ……………6-1 SDメモリーカードを使用するには ……………6-5	
7.テレビ・オーディオ	共通の操作	電源の入れ方・音量調整のしかた ……………7-1 音の調整 ……………7-2 テレビ・オーディオの切り替え ……………7-3	
	機能ごとの操作	ワンセグ(テレビ)をお使いになる前に ……………7-5 ワンセグ(テレビ)を見るには ……………7-7 番組表を見るには ……………7-14 ワンセグ(テレビ)の設定を行うには ……………7-16 緊急警報放送(EWS)を見るには ……………7-18 ビデオカメラ等のモニターとして使うには ……7-19 ラジオを聞くには ……………7-20 交通情報を聞くには ……………7-23 CDプレーヤーでCDを聞くには ……………7-24 MP3/WMAプレーヤーで音楽を聞くには ……7-27 ポータブルオーディオ機器を接続して使う(AUX) ……7-39	
8.知っておいてください		自転車位置精度について ……………8-1 ルート探索について ……………8-3 ルート案内について ……………8-5 こんなメッセージが表示されたとき ……………8-7 故障とお考えになる前に ……………8-9 保証とアフターサービス ……………8-13 仕様 ……………8-13 用語さくいん ……………8-15 凡例 ……………8-17	

1 はじめに

2 基本編

3 応用編

4 設定編

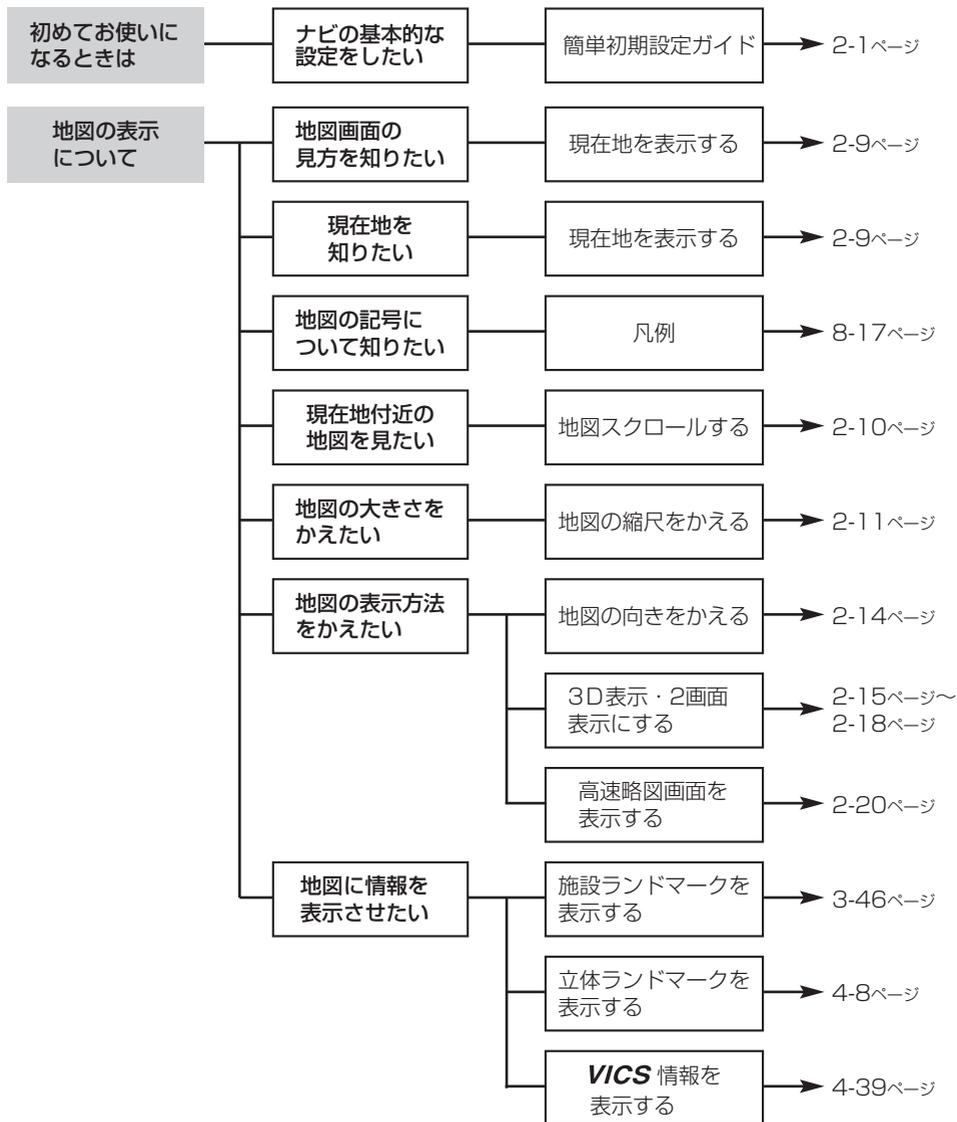
5 情報機能

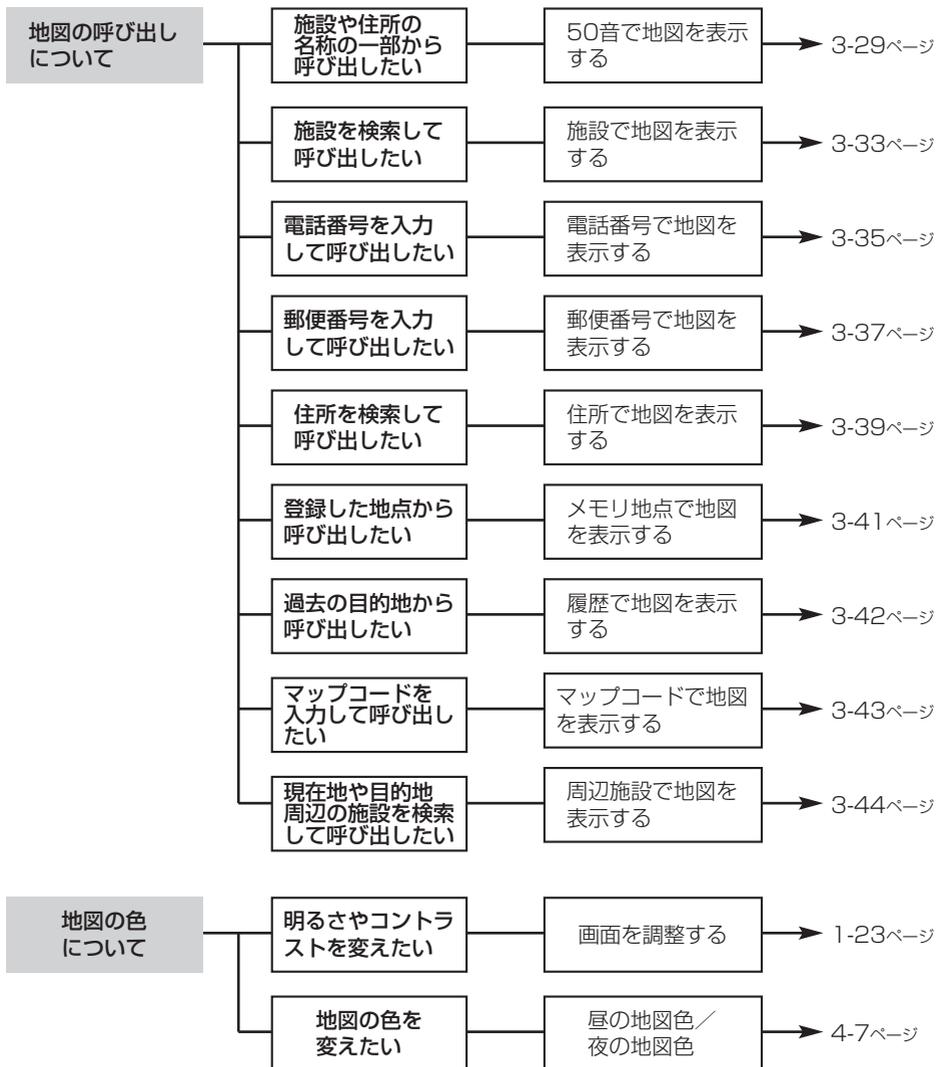
6 リアカメラ・SDメモリーカード

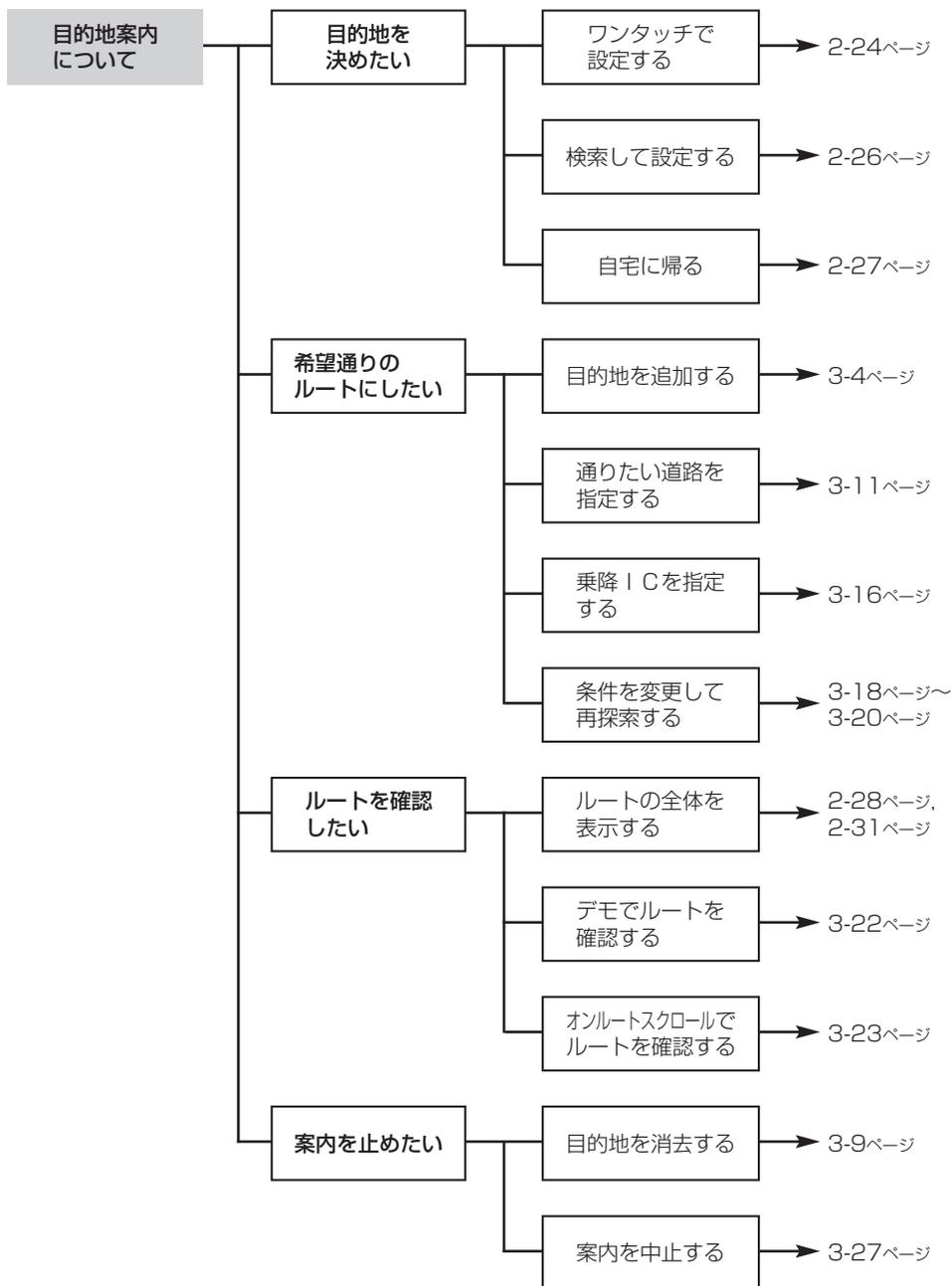
7 テレビ・オーディオ

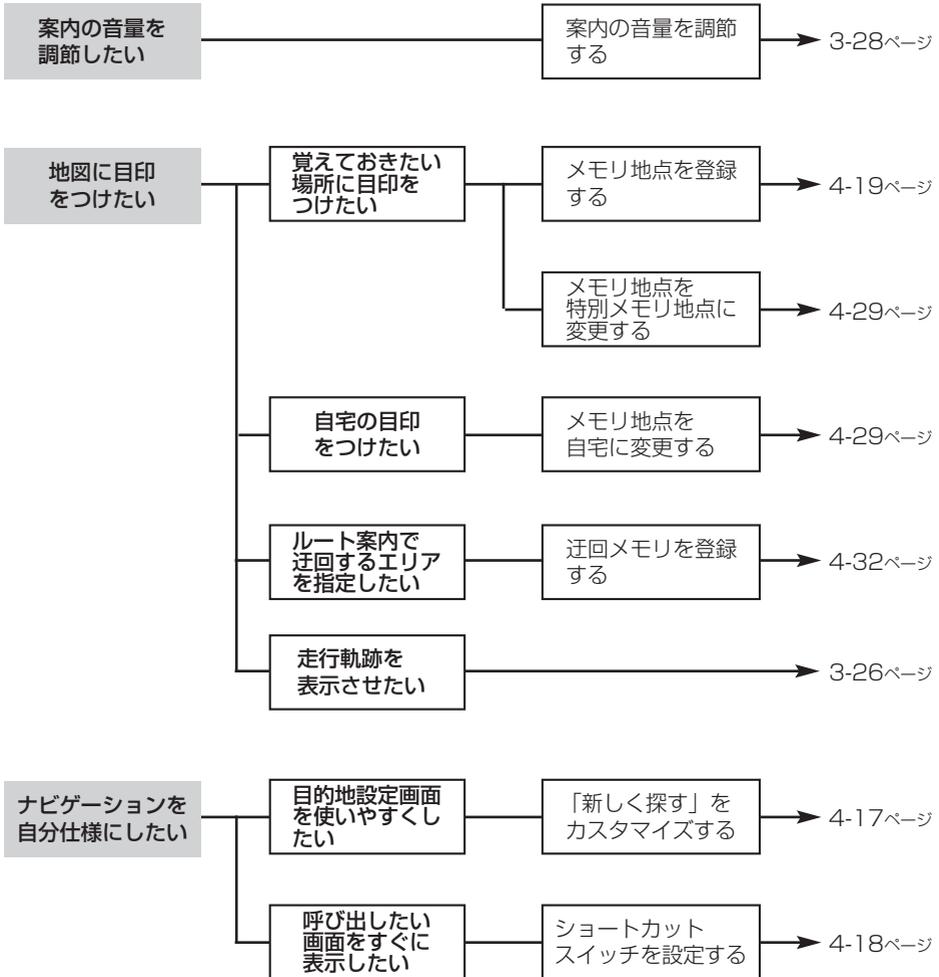
8 知っておいてください

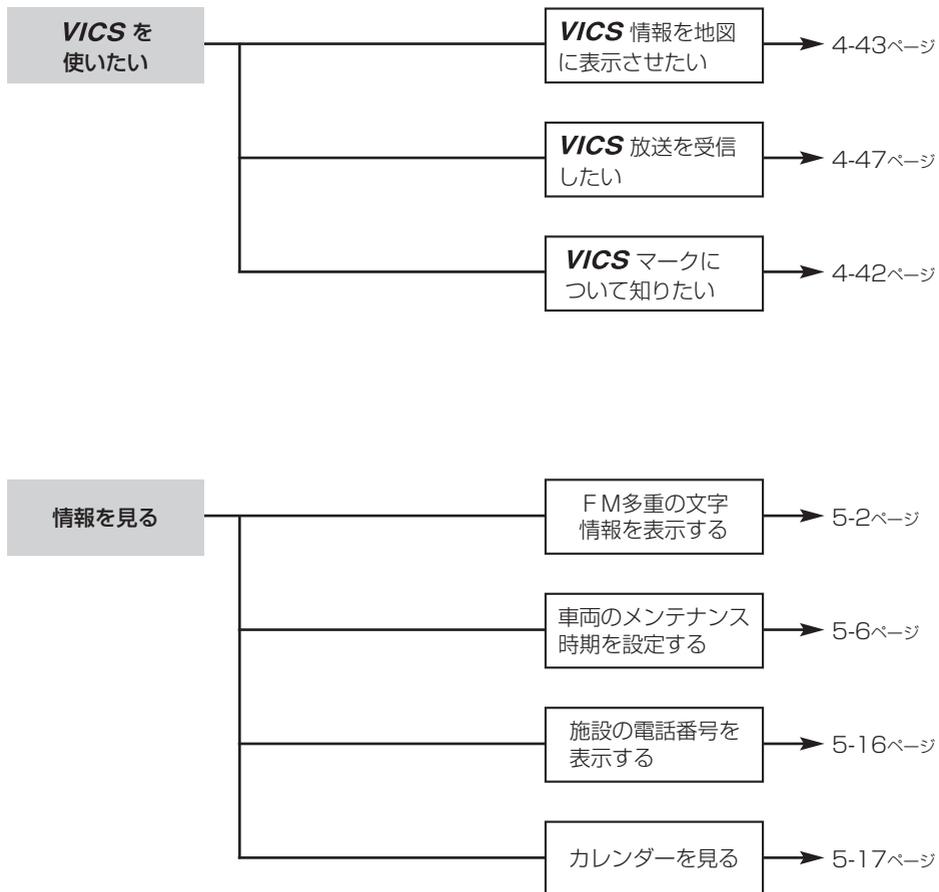
目的別早見表

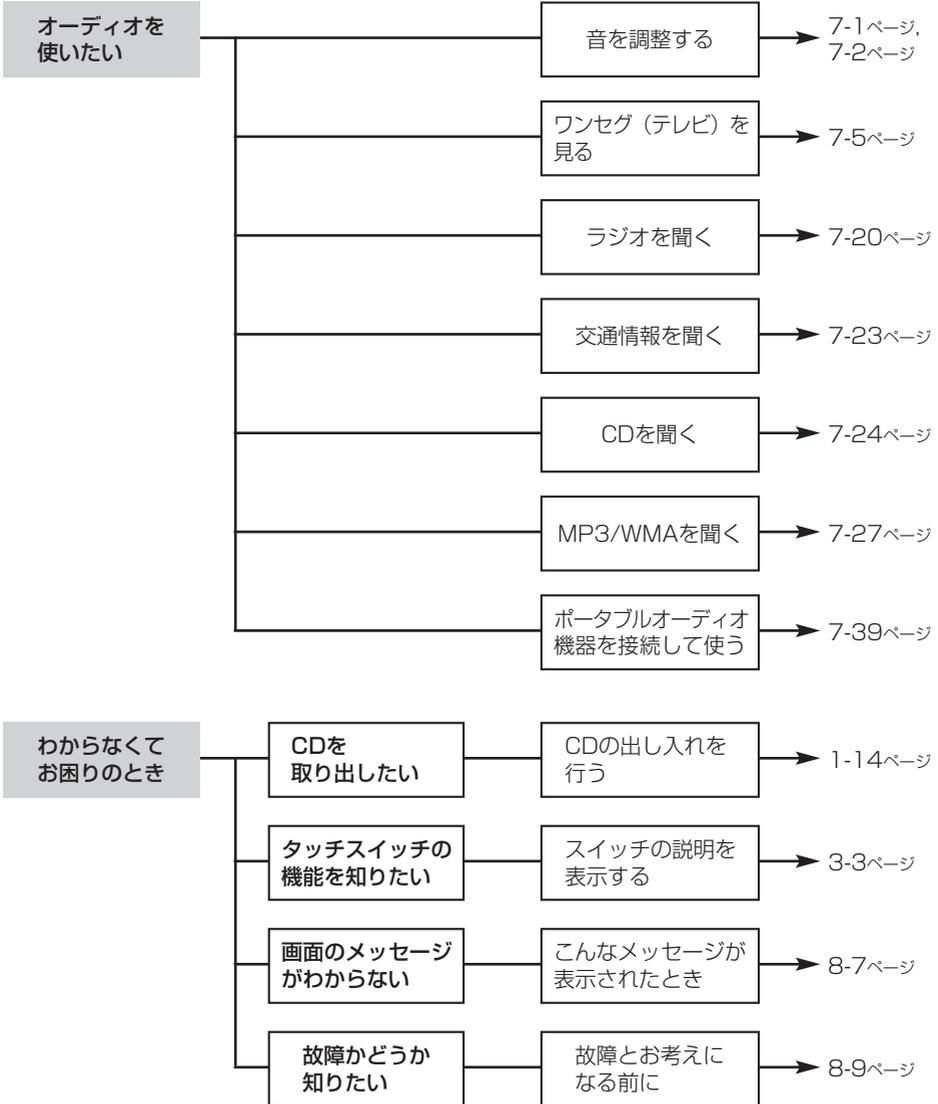












主な特長

簡単初期設定ガイド

初めて本機を起動したときに表示されます。案内音量・自宅・よく行く場所・車両情報の設定ができます。(P.2-1参照)



ナビシンプルメニュー

分かりやすいシンプルなメニュー画面で、簡単に操作ができます。(P.2-7参照)



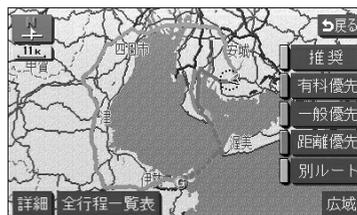
どこでも確認ボタン

確認 を押すと、現在のオーディオやナビゲーションの状態がひと目でわかる画面を表示することができます。(P.2-38参照)



5ルート探索

複数のルートから案内するルートを確認し選択することができます。(P.2-28参照)



カラフル地図

市区町村別に地図の色を塗り分けて表示することができます。(P.2-9参照)



ハイウェイ入口案内

都市高速入口付近の複雑な道路も立体的なイラストでわかりやすく誘導します。(P.2-33参照)



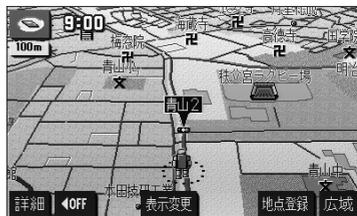
レーンリスト図

分岐する交差点までに通過する交差点の走行車線情報を表示することができます。(P.2-33参照)



自車マーク選択

お好みの自車マークを5種類の中から選択して表示することができます。(P.4-10参照)



VICSチューナー内蔵

FM多重VICSチューナーを内蔵しており、渋滞情報を地図に表示することができます。(P.4-43参照)



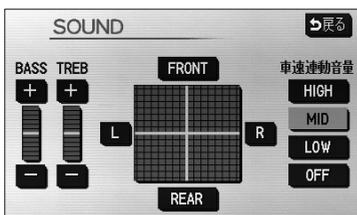
ヒント表示

画面に表示されるタッチスイッチの使い方や説明をわかりやすく表示することができます。(P.3-3参照)



車速連動音量

オーディオの音量を自車の走行速度に応じて自動で調整することができます。(P.7-2参照)



ワンセグチューナー内蔵

携帯電話などの移動体端末向けサービスのワンセグを視聴することができます。(P.7-5参照)



お使いになる前に

👉 お願い

● 悪路走行時について

悪路走行中などで振動が激しい場合、地図データを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常に戻ります。

● 精密機器のため取り扱いに注意

極端な高温や低温の中での使用は誤作動や故障の原因になりますので周囲の温度には注意してください。

また本機内部に金属物や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因になりますのでご注意ください。

● ディスクの取り扱いに注意

- ・ ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなどの誤作動の原因になる場合があります。特にケースからの出し入れにご注意ください。
- ・ ラベル面に紙などを貼ったりしないでください。デッキ内部でラベルがはがれて故障の原因になります。
- ・ ディスクは曲げたり、キズをつけたりしないでください。

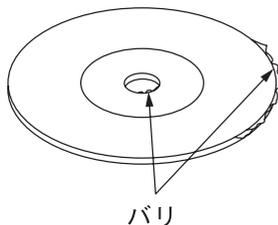
● ディスクの保管上の注意

- ・ 長時間使用しないときは、汚れ、ゴミ、キズ、そりなどを避けるため、ディスクは必ずケースに入れて保管してください。
- ・ ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあるため、次のような場所に置くことは避けてください。
 1. 長時間直射日光のあたる場所。
 2. 湿気やゴミ、ほこりの多い場所。
 3. 暖房器具の熱が直接あたる場所。
 4. 車のシート、ダッシュボードの上。

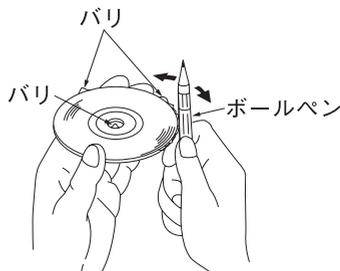
● 新しいディスクの使用上の注意

新しいディスクには、ときによりディスクのセンターホールや外周にバリが残っていることがあります。このようなディスクをご使用になるとディスクが正しくセットされず、動作しないことがあります。

このような場合には、あらかじめディスクのセンターホール内側や、外周のバリを細い棒状のもの（例えばボールペンなど）で取り除いてからお使いください。



バリについて



バリの取り除きかた

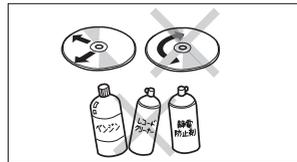
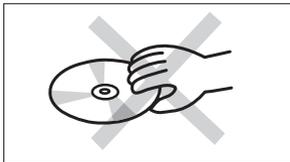
👏 お願い

● ディスクのクリーニングについて

- ・ディスクに汚れやゴミがついたときは、水を含ませたやわらかい布でふいたあと、乾いた布でふいてください。
- ・ディスクをふきとる際には、ディスクの内側中心から外側方向へ軽くふきとってください。
- ・ベンジン、アナログ式レコード盤クリーナー、静電防止剤を使いますと、ディスクを傷めるので使用しないでください。



ディスクの持ち方



ディスクのクリーニング

● お手入れの仕方

<本機の清掃>

- ・ベンジン、シンナー類を使いますと、ケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

<ディスプレイ部の清掃>

- ・画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。
- 手で押ししたり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

● アンテナについて

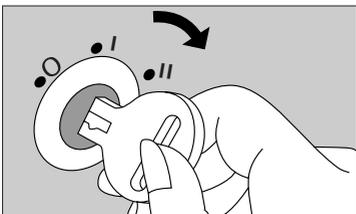
- ・一度貼り付けたアンテナははがさないようにしてください。機能が損なわれます。

<お手入れについて>

- ・フロントウィンドウ（室内側）のお手入れの際、アンテナは柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは水に薄めた中性洗剤に浸した布で乾拭きしてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどをご使用にならないでください。
- ・アンテナ貼り付け後しばらくたってから、稀に気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は数日で消えます。

電源を入れるには

本機は車のエンジンをかけると自動的にナビゲーションの電源が入ります。エンジンを切ると電源も切れます。



(1) 車のエンジンスイッチを I (ACC) または II (ON) にします。

●ナビゲーションの電源が入ります。



●初期画面（オープニング画面）が表示されます。



●ナビゲーション画面が表示されます。

●初めて本機を起動したときは、簡単初期設定ガイド画面が表示されます。(P.2-1 参照)



お知らせ

ナビゲーションの画面が表示されないときは、**現在地** を押してください。

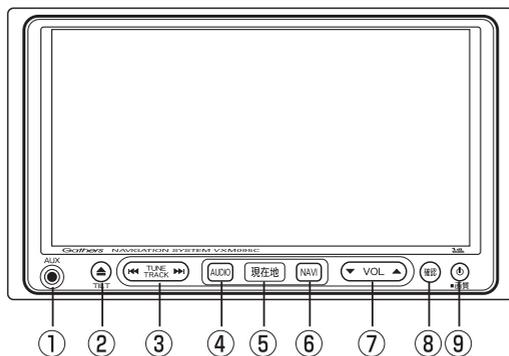


お願い

バッテリー交換や本機を別の車に付け替えるなど、バッテリー電源を遮断すると本機に保存されているプログラムが消去されます。この場合、次回本機の電源を入れたときにプログラムの読み込みが開始されます。プログラム読み込みが終了するまで、そのままお待ちください。

各部の名称とはたらき

本機はパネルに配置しているボタンを押したり、画面に表示されるタッチスイッチを直接タッチして操作します。



●操作ボタンについて

① AUX接続コード端子

別売のAUX接続コードで、市販のポータブルオーディオなどを接続できます。

② TILTボタン

ディスクの差し込みや取り出し、ディスプレイの角度を調節する画面を表示するときに押します。

③ TUNE・TRACKボタン

テレビ・ラジオの放送局の選局、またはディスクの選曲を行うときに押します。

④ AUDIOボタン

オーディオ操作画面を表示するときに押します。

⑤ 現在地ボタン

ナビゲーションを呼び出し、現在地画面を表示するときに押します。現在地を表示しているときは、現在地の地名を表示します。またルート案内中であれば再び音声案内を聞いたり、交差点拡大図を見ることができます。

⑥ NAVIボタン

ナビメニューを表示するときに押します。

⑦ VOLボタン

テレビ、オーディオ機能の音量を調整するときに押します。

⑧ どこでも確認ボタン

確認画面を表示/消去するときに押します。

⑨ AUDIO ON/OFFボタン

オーディオ機能の電源を入れるときや、切るときに押します。“ピッ”という音が鳴るまで押すと、画面の明るさや色の調整を行なう画面を表示することができます。

●タッチスイッチについて



タッチスイッチ
画面のスイッチに
タッチして操作し
ます



- ・ナビゲーションの画面では、タッチスイッチは“ピッ”という音が鳴るまでタッチしてください。
- ・画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- ・スイッチの反応がないときは、一度画面から手をはなしてから再度タッチしてください。
- ・操作できないタッチスイッチは色が反転します。
- ・スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチが強調表示されるものもあります。
- ・1つ前の画面に戻すときは **戻る** にタッチします。

<本書でのスイッチ表示>

- ・タッチスイッチにタッチするときは、**○○○** でスイッチ名称を表示しています。

CD・SDメモリーカードの出し入れ

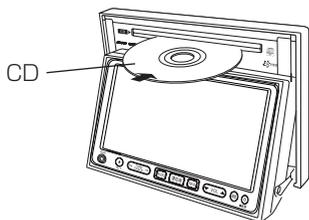
音楽をお聞きになるときは音楽CD、検索用データを追加するときには専用のSDメモリーカード（P.6-5参照）を各差し込み口に入れてください。

1 CDの出し入れを行うには

CDの出し入れは、ディスクの出し入れを行う画面を表示させてから行います。



CDを差し込む



- (1)  を押します。
 - ディスクの出し入れを行う画面が表示されます。
- (2) **DISC** にタッチします。



お知らせ

ディスクが差し込まれていない場合は、スイッチに「NO DISC」と表示されます。

- ディスプレイ部が開き、ディスクの差し込み口があらわれます。



アドバイス

DISC にタッチした場合、ディスプレイ部はCD差し込み口の位置で自動的に止まります。

- (3) 差し込み口にCDを差し込みます。
 - CDはラベル面を上にして差し込み口に差し込みます。
 - CDが完全に差し込まれるとディスプレイ部は自動的に閉まり、差し込まれたCDの再生が開始されません。
 - ・ CDの操作については、P.7-24を参照。



CDを取り出す場合



(4) CDを取り出す場合は、P.1-14の **1** の(2)の画面で **DISC** にタッチします。

- ディスプレイ部が開き、ディスクが押し出されます。
- ディスプレイ部が開いた状態でも **DISC** にタッチするとディスクが押し出されます。

(5)  を押すまたは **CLOSE** にタッチするとディスプレイ部が閉じます。



- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などにディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬけがをするおそれがあります。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。また、ディスプレイ部の開閉時に指がはさまれるおそれがあります。ご注意ください。



禁止



！ アドバイス

- エンジンスイッチがOFFの場合でも、 を押すと一度だけディスプレイを閉じることができます。
-  を10秒以上長く押し続けるとディスプレイが開き、ディスクが差し込まれているときは、ディスクが押し出されます。

👉 お願い

- CDを取り出すとき、CDが押し出された状態のままディスプレイ部を閉じないでください。CDを傷つけるおそれがあります。
- 既にCDが挿入されている差し込み口にさらにCDを挿入しないでください。故障の原因になります。

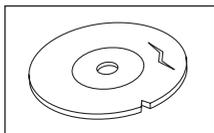


お願い

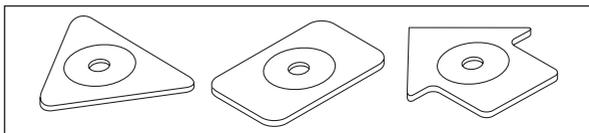
- CD差し込み口にはCD以外は入れないでください。
- 本機のCDプレーヤーは、8cmディスクには対応しておりません。また、8cmディスクアダプターはご使用にならないでください。
本機に使用しますと、ディスクを取り出せなくなるおそれがあり、故障の原因になります。
- 市販されているプロテクトフィルムやスタビライザーはご使用にならないでください。
本機に使用しますと故障の原因になります。
- 画面保護のため、ディスプレイ部は必ずお閉めください。
- ディスクレーベル面に[CDロゴ]（下記のマーク）の入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。CD規格外ディスクを使用された場合には再生の保証は致しかねます。また、再生できた場合であっても音質の保証は致しかねます。
- 再生できるCDについて
下記のマークの付いた音楽用CDやCD-R（CD-Recordable）／CD-RW（CD-ReWritable）がご使用できます。



- 記憶部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますのでご使用にならないでください。
- CCCD（Copy Control CD）は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。
ご使用になる前に必ずディスクに付属されている説明書などをお読みください。
- 本機では、スーパーオーディオCD（SACD）には対応しておりません。右のロゴ表示のあるスーパーオーディオCD（SACD）は、通常のCDと構造が異なるため、再生できない場合があります。
- 本機では、DTS-CDには対応しておりません。再生の保証は致しかねます。
- 特殊形状のディスクはご使用にならないでください。
三角形や四角形、矢印型など特殊形状のディスクや傷のついたディスクは再生できません。本機に使用しますと故障の原因になります。



傷のあるディスク



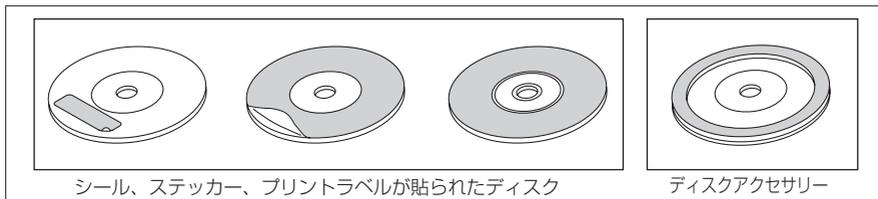
特殊形状のディスク



お願い

●ディスクのアクセサリーについて

音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（ディスクリング、保護シール）はご使用にならないでください。また、プリントラベル類や紙、ステッカーなどが貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わったり、内部でステッカーなどがはずれたり、ディスクがそり、取り出せなくなるなど、故障の原因になります。



●CD-R/RWディスクのご使用について

- ・市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたディスクはご使用にならないでください。
- ・CDレコーダー（CD-R/RWドライブ）で記録したCD-R/RWは、その特性・汚れ・指紋・傷などにより、再生できない場合があります。
- ・CD-R/RWは、通常の音楽CDに比べて高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- ・ディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- ・ビデオCDは、再生できません。

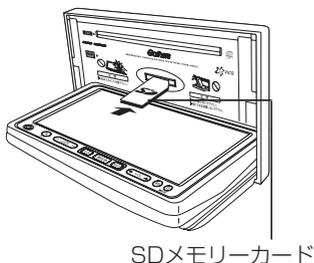
2 SDメモリーカードの出し入れを行うには

SDメモリーカードの出し入れは、ディスクの出し入れを行う画面を表示させてから行います。

- (1)  を押します。
 - ディスクの出し入れを行う画面が表示されます。
- (2) **OPEN** にタッチします。



SDメモリーカードを差し込む

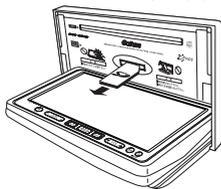


- ディスプレイ部が開き、ディスクの差し込み口があらわれます。
- (3) 差し込み口にSDメモリーカードを差し込みます。
 - SDメモリーカードはラベル面を上にして差し込み口に差し込みます。
 - SDメモリーカードはSDスロットに奥まで挿入します。 を押すまたは **CLOSE** にタッチするとディスプレイ部が閉じます。
 - ・ SDメモリーカードの操作については、P.6-5を参照。



- (4) SDメモリーカードを取り出す場合は、**2**の(2)の画面で **OPEN** にタッチします。

SDメモリーカードを取り出す



- ディスプレイ部が開き、SDメモリーカードを押すと、SDメモリーカードが押し出されます。

- (5)  を押すまたは **CLOSE** にタッチするとディスプレイ部が閉じます。



- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などにディスプレイ部に 体が当たるなどして思わぬけがをするおそれがあります。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。また、ディスプレイ部の開閉時に指がはさまれるおそれがあります。ご注意ください。



アドバイス

エンジンスイッチがOFF の場合でも、 を押すと一度だけディスプレイを閉じることができます。



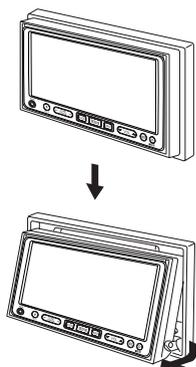
お願い

- SDメモリーカードを取り出すとき、SDメモリーカードが押し出された状態のままディスプレイ部を閉じないでください。SDメモリーカードを傷つけるおそれがあります。
- SDメモリーカードの詳細についてはP.6-5の「SDメモリーカードを使用するには」をご覧ください。

ディスプレイの角度を調整するには

画面が見えにくいときにディスプレイの角度を3段階で調整することができます。

- (1)  を押します。
 - ディスプレイの角度を調整する画面が表示されます。
- (2) **TILT** にタッチします。
 - ディスプレイが斜め上方に1段階（7°）傾きます。
 - スイッチにタッチすることにより1段階ずつ傾きます。傾きが3段階目のときにスイッチにタッチするとディスプレイがもとの状態（0°）に戻ります。
 -  を押すと、もとの画面に戻ります。



ディスプレイの角度調整をするときは、手などをはさまないように注意してください。けがの原因や、故障の原因になります。



お知らせ

- ディスプレイが傾いている状態でも、 を押してから **TILT** にタッチするとディスプレイは傾きます。
- ディスプレイを傾けた状態でエンジンスイッチをOFFにすると、自動的に傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチを I (ACC) または II (ON) にしたときは、傾いた状態に戻ります。



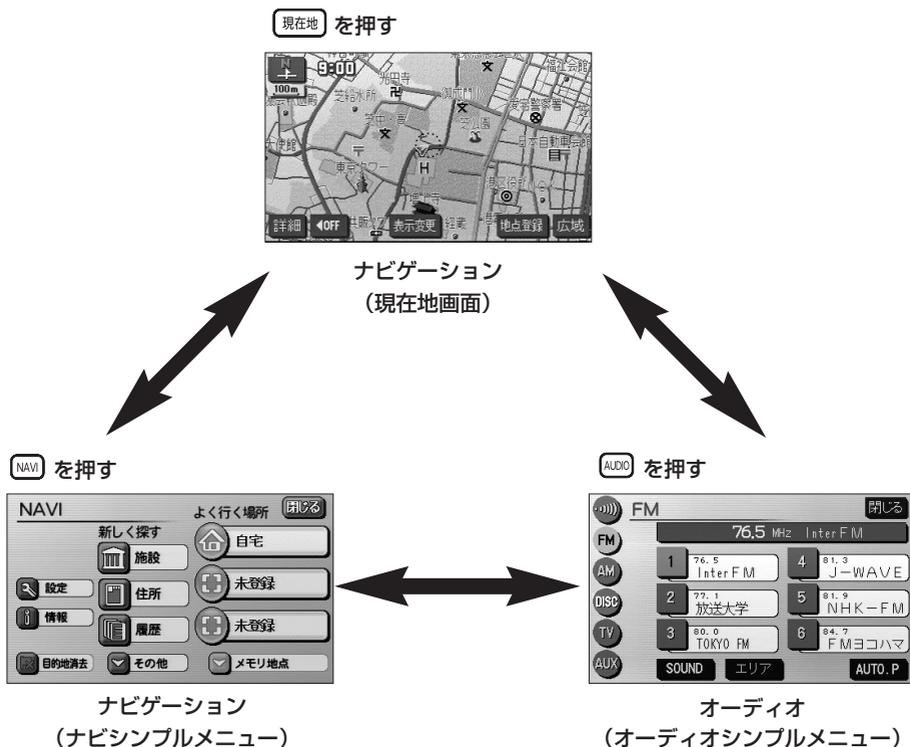
お願い

ディスプレイが傾いている状態では、ディスク差し込み口が見えることがありますがCDなどを絶対に差し込まないでください。故障の原因になります。

ナビゲーション・オーディオの切り替え

ナビゲーション・オーディオの画面や音声は、下記のとおり切り替えられます。

(ナビゲーションの画面に切り替えたときは、それまでに聞いていた音声が続いて聞けます。)



画面	主な機能
ナビゲーション (現在地画面)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在地の表示 ・ 目的地への案内
ナビゲーション (ナビシンプルメニュー)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的地の設定 ・ メモリ地点の登録、編集 ・ FM多重放送の受信
オーディオ (オーディオシンプルメニュー)	<ul style="list-style-type: none"> ・ オーディオ(ラジオ、テレビ)の切り替え ・ オーディオの操作(チャンネルの切り替えなど)

●本書の説明において、「ナビシンプルメニュー」を「ナビメニュー」、「オーディオシンプルメニュー」を「オーディオ操作画面」・「各モード(AM・CDなど)操作画面」と記載しています。

本機の機能はエンジンスイッチの位置など次の条件により操作できる場合とできない場合があります。

エンジン スイッチ	ナビゲーション ・ 現在地画面	テレビ	オーディオ	FM多重文字情報
0 (OFF)	×	×	×	×
I (ACC)	○	○	○	○
II (ON) 停車中	○	○	○	○
II (ON) 走行中	安全上の配慮から 操作できなくなる 機能があります	安全上の配 慮から音声 だけになり ます	安全上の配慮か ら操作できなく なる機能があり ます	一部の画面は安全 上の配慮から表示 しません

○：操作できます
×：操作できません



お願い

エンジンスイッチがI (ACC) またはII (ON) でエンジンを始動していない状態のときはバッテリーあがりにご注意ください。

エンジンを停止させたまま、本機を長時間作動させることは避けてください。
バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。



アドバイス

走行中、操作できないタッチスイッチは色が反転し、タッチしても操作できません。

画面の調整

画面の明るさや色の調整、またテレビのワイド画面サイズの切り替えなどができます。

！ アドバイス

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により<昼画表示>と<夜画表示>に切り替わります。

昼画表示



ライト点灯



ライト消灯



夜画表示



1 ライト点灯時に昼画表示にするには



作動表示灯

- (1) 夜画を表示しているときに  を“ピッ”という音が鳴るまで押します。
- (2) **昼画面** にタッチします。
 - 昼画表示のときは、作動表示灯が点灯します。
 - **昼画面** にタッチすることにより昼画面と夜画面が切り替わります。
 - 画面を消したいときは **画面消** にタッチします。
 を押すと再び画面が表示されます。
- (3) 調整が終了したら **調整完了** にタッチします。

2 コントラスト（鮮明度）／明るさを調整するには



(1) を“ピッ”という音が鳴るまで押します。

■ コントラスト（鮮明度）を調整する

強くするときは **強**、弱くするときは **弱** にタッチします。

■ 明るさを調整する

明るくするときは **明**、暗くするときは **暗** にタッチします。

(2) 調整が終了したら **調整完了** にタッチします。

! アドバイス

コントラスト／明るさ調整は、昼画面・夜画面でそれぞれ独立して調整することができます。

3 色合い／色の濃さを調整するには



(1) テレビをご覧になっているときに を“ピッ”という音が鳴るまで押します。

■ 色合いを調整する

緑色を強くするときは **緑**、赤色を強くするときは **赤** にタッチします。

■ 色の濃さを調整する

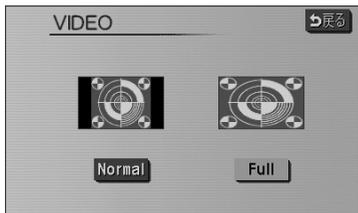
色を濃くするときは **濃**、色を淡くするときは **淡** にタッチします。

(2) 調整が終了したら **調整完了** にタッチします。

! アドバイス

色合い／色の濃さは、テレビ/リアカメラの映像画面が表示されているときのみ調整できます。

4 VTRのワイド画面モードを切り替えるには



- (1) ビデオ操作画面 (P.7-19参照) で **WIDE MODE** にタッチします。
- (2) 表示させたい画面モードにタッチします。



- **Normal** にタッチすると、たて3：よこ4の割合の画面で両端が黒く表示されます。
たて3：よこ4の割合の映像は、オリジナルと同じ比率で表示されます。
たて9：よこ16の割合の映像は、左右方向に圧縮されます。



- **Full** にタッチすると、画面を全て使用した映像が表示されます。
たて3：よこ4の割合の映像は、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。
たて9：よこ16の割合の映像も、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。



注意

テレビ番組や映画などの映像比率と異なるモードを選択されますとオリジナル映像と見え方に差が出ることをご注意ください。また、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の(分割表示や)圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

5 ワンセグ（テレビ）のワイド画面モードを切り替えるには



(1) ワンセグ放送局リスト画面（P.7-10参照）で **WIDE MODE** にタッチします。

(2) 表示させたい画面モードにタッチします。



- **Normal** にタッチすると、たて3：よこ4の割合の画面で両端が黒く表示されます。
たて3：よこ4の割合の映像は、オリジナルと同じ比率で表示されます。
たて9：よこ16の割合の映像は、左右方向に圧縮されます。



- **Wide** にタッチすると、たて9：よこ16の割合の画面が表示されます。
たて3：よこ4の割合の映像は、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。
たて9：よこ16の割合の映像は、オリジナルと同じ比率で表示されます。



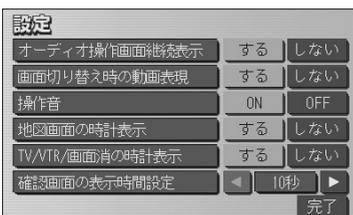
- **Full** にタッチすると、画面を全て使用した映像が表示されます。
たて3：よこ4の割合の映像は、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。
たて9：よこ16の割合の映像も、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。

画面の設定

アニメーションやキャラクターの設定、オーディオ操作画面（P.7-3参照）の設定を行うことができます。

1 画面に動きを持たせるには

スイッチにタッチしたときに、アニメーションによって画面に動きを持たせることができます。また、キャラクターを表示することができます。



(1) ナビメニュー（P.2-7参照）から、**情報** にタッチします。

● 情報のメニュー画面が表示されます。

(2) **設定** にタッチします。

● 画面設定の画面が表示されます。

(3) 画面切り替え時の動画表現の **する** にタッチします。

● 設定したタッチスイッチは強調表示されます。

(4) **完了** にタッチします。

<動画表現の例>

● 画面切り替え時の動画表現を「する」に設定すると、操作時に画面が以下のように切り替わります。また、キャラクターが表示されるようになります。

<アニメーション>

特定のスイッチにタッチしたときに行われます。



<キャラクター>

キャラクターは、現在の日付やナビゲーションの操作説明などの音声案内時に登場します。



2 画面の表示設定をするには

オーディオ操作画面（P.7-4参照）は、表示させて約6秒以上操作しなかったとき、自動的に表示を「解除する（もとの画面に戻る）」または「解除しない」に切り替えることができます。



- (1) P.1-27の **1** の (3) の画面で、オーディオ操作画面の表示を一定時間後に自動的に解除したいときはオーディオ操作画面継続表示の **解除しない** にタッチします。

- 継続して表示させたいときは **する** にタッチします。
- 設定したタッチスイッチは強調表示されます。

- (2) **完了** にタッチします。

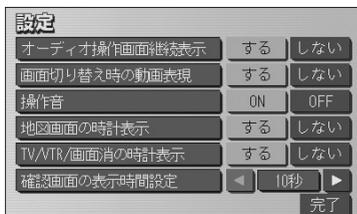


お知らせ

- CD・SDメモリーカードの出し入れを行う画面（P.1-14参照）などを表示中にオーディオ操作画面を表示して自動解除が行われた場合は、CD・SDメモリーカードの出し入れを行う画面を表示する前に表示していた画面を表示します。
- 確認画面の表示時間設定は、確認画面（P.2-39参照）の表示を自動的に消去するまでの時間を設定することができます。

3 操作音を設定するには

操作ボタンやタッチスイッチ操作時の操作音のON（鳴らす）／OFF（鳴らさない）を設定することができます。



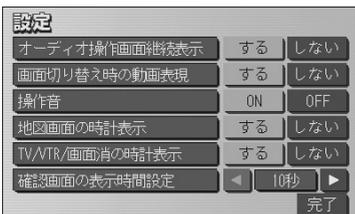
- (1) P.1-27の **1** の (3) の画面で、操作音の **ON** にタッチします。

- 設定したタッチスイッチは強調表示されます。

- (2) **完了** にタッチします。

4 時計の表示設定をするには

画面に時計を表示することができます。



(1) P.1-27の **1** の (3) の画面で、画面ごとに設定します。

- 地図画面に時計を表示する
地図画面の時計表示の **する** にタッチします。
- オーディオ映像や画面消に時計を表示する
TV/VTR/画面消の時計表示の **する** にタッチします。
- 設定したタッチスイッチは強調表示されます。

(2) **完了** にタッチします。

時計表示



！ アドバイス

TV/VTR/画面消の時計表示を「する」に設定した場合は、以下の画面に時計が表示されます。
ワンセグ画面（映像画面、番組表画面、番組の詳細内容画面、設定画面）、VTR映像画面、画面消（P.1-23参照）

🔊 お知らせ

GPSが受信されるまで表示時間がずれる場合があります。また、時計が表示されるまで時間がかかる場合があります。

メモ
